

# 多高通信

第119号 平成27年6月24日発行

## 吹奏楽部 第38回定期演奏会

5月24日、吹奏楽部の第38回定期演奏会が多賀城文化センターで行われました。今年も昼夜の2回公演を行いました。どちらの公演も客席は満員。大盛況のうちに終わることができました。

### ■高橋まりな

(吹奏楽部部長 3年2組 しらかし台中出身)  
第38回定期演奏会も、たくさんの方々の支えのおかげで、大成功させることができました。本番はたくさんのお客さんの前で楽しんで演奏することができ、とても充実した演奏会となりました。練習の辛い日々も、演奏会が終わってしまうとんだかさみしい感じがします。今後はコンクールが控えており、さらに厳しい練習になります。応援してくださる保護者の皆様、地域の皆様、先生方の期待に応えられるよう、頑張っていきたいと思っています。

まだまだ未熟な私たちではありますが、これからも吹奏楽部の応援をよろしくお願いいたします。



## チエロコンサート in 多賀城高校

5月25日、本校体育館でチエロコンサートが行われました。前日の24日に仙台で開かれた「1000

人のチエロコンサート」の参加者のうち、第7回東北

キヤラバンとして有志20名が本校を訪問して下さいました。「1000人のチエロコンサート」は、阪

神・淡路大震災の復興を祈念して1998年から開催されているもので、今

回は東日本大震災の被災地支援として仙台で開催されました。

全国各地から集まったチエロ奏者の方々が奏でる音色に、生徒も職員も皆うつとりと聴き入っていました。



## 1学年・総合学習

### 通学防災マップを作りました

5月26日、1学年の総合学習の時間に、「通学防災マップ」の作成を行いました。生徒に配付された地図には東日本大震災の津波で浸水した地域が識別できるように色分けされています。また、急傾斜地崩壊危険箇所にも印が付いており、大雨・洪水の際にはその付近を避けて通るように注意します。



防災マップ作成の目的は、登下校途中の災害から身を守り、迅速に避難行動を取ることができるようすることです。地図に自分の通学路を赤で記入し、事前に家庭で話し合ってきた非常時の家族集合場所を、地図に書き入れました。

## 3学年 防災ワークショップ

6月2日、3年生防災ワークショップとして3つの取組が並行して行われました。いずれも外部講師をお招きした先進的な取組となり、教育関係者や報道機関等、多くの方々が訪れました。

### ① 地理・総合的な学習 特別授業

静岡県立裾野高等学校の伊藤智章先生をお招きして、地理の特別授業「デジタル地図帳でマイ・ハザードマップを作ろう」が行われました。来年度、災害科学科が新たに設置される本校生徒に、タブレット端末を使った「デジタル地図帳」を紹介し、活用方法を考えてもらう目的として行われました。特に、「ICT(情報通信技術とコミュニケーション)と地域資源を活用した新しい防災教育および地理教育教材の在り方、並びに、被災地から



パソコンで加工した地図をタブレットに取り込みます。

の効果的な情報発信についての講義がありました。授業では、地図ソフトに新聞記事データなどを添付する実習を行いました。

### ■相澤真帆(3年5組 利府中出身)

今回、初めてアプリを使ってハザードマップの作成を体験しました。震災後、ハザードマップを見る機会が増え、自分たちで作ることができたらどのようなものかとても楽しかったです。時間の関係で完成まではいきませんが、どどのような内容にしようかと考えたり、いろいろな地域のハザードマップを見ることができたり、とても興味深かったです。地図には観光名所などのデータも入っていたため、地図の加工のしかたによっては町歩きガイドとしても利用でき、自分の住んでいる地域を改めて知りたいと感じました。

授業の中の話で、「ハザードマップを考えるにあたって、対象者も細かく決める必要がある」ということに驚きを感じました。当たり前のようですが、今まで考えたことが無かったので、その対象者ごとのハザードマップを作ったら面白そう



教育関係者、報道関係者など、多くの方々においでいただきました！

だなどと思いました。

今回の授業の3時間はあっという間で、いろいろなことを考えることができました。機会があれば、今度はマイ・ハザードマップを完成させたいです。

### ② 防災図上訓練

(株)八千代エンジニアリングの寺脇学氏による防災図上訓練が行われました。初めに自然災害全般についての説明や、避難行動について考えなければならぬことなどについてお話をいただきました。

今回は日本での被害件数が多い豪雨災害について学びました。架空の地図を用いた図上訓練では、河川の氾濫、洪水、土砂災害などを想定し、100名の住民をどのように避難させるかをグループで話し合いました。過去の災害について知ること、どのような災害がどの規模で、時間によってどのような経過をとるのかを考え住民を避難させることは常に意識しておき判断しなければならぬことを、この訓練から学びました。避難とは「難(災害)を避ける、逃れる知恵を持ち、自分の命を自分で守ること」であるという考えを学びました。



グループごとに避難の経路と考え方を発表し、検討しあいます。

### ■鈴木玲奈(3年6組 塩竈三中出身)

東日本大震災のことは知っていても、水害の知識はありませんでした。被害を防ぐポイントを知り、いろいろな人を助けたいと思いました。

### ③ 大学生によるワークショップ

東北学院大学の和田正春教授とその学生の方々による、防災ワークショップが行われました。与えられたテーマに沿って生徒が意見を出し合いました。学生の皆さんはファシリテーターとして生徒たちの議論が深まっていくのを手助けしてくれました。



昨年度卒業生の小畑綾香さん(中央)もファシリテーターとして参加してくれました。

グループごとの発表の様子





## 1学年 制服着なしセミナー

6月11日、1年生のロングホームルームで、制服着なしセミナーが行われました。

本校では、平成20年に現在の制服が制定されましたが、本校の校訓や歴史を盛り込んでデザインしていただいた宮城トンボ株式会社から、服部眞一郎氏を講師にお迎えし、制服の意義や正しく着こなすことの大切さを学びました。



メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

### ■生徒の感想

○このセミナーで僕の中での制服の価値観が変わった。今までは制服は学校に行くために着る服としか思わなかった。しかし、制服とは社会に認めてもらったための大切な服装であり、また、自身がそれを着ることが学校の印象を良くも悪くもするということを知り、責任感を感じた。これからは、責任を負っていることを自覚し、着こなして徹底して注意したいと思った。

○会社が正社員の採用で面接をする際に、中身よりも見た目を重視していることに驚いた。「1人の社員を採用するのは、40年・2億円の買い物をするということなので、当然見た目も中身に重視される」という話は納得できるし、私も就職するときにその一人に選ばれるように今からきちんとした身だしなみができるようにならないといけないと思った。

## 多高生大健闘！ 県総体

## 山岳男子 東北大会出場！

## サッカー！女子テニス ベスト8！

6月6日～8日に行われた県総体で、山岳部が男女そろって3位入賞を果たし、男子は東北大会への切符を手に入れました。また、サッカー部と女子テニス部の団体、個人ダブルス齋藤・田畑ペアがベスト8の成績を収めました。今回の総体で3年生が引退となる部も多く、どの競技も白熱した戦いが繰り広げられていました。

3年生は、定期考査をはさみ、進路達成へ向け学習合宿が行われます。部活動で培った精神力をバネにして進路を達成してもらいたいものです。また、

1・2年生は先輩が築きあげたものを守り、さらに越えていけるように頑張っていきましょう！

### ■山岳部部長 安島岳史



（3年1組 多賀城二中出身）  
私たち山岳部は、今回の県総体において男女ともに3位入賞し、また、男子は東北大会への出場が決定しました。大会後、結果を聞いた先生方や先輩、後輩をはじめ多くの方々から祝福の言葉をいただきました。本当にありがとうございます。

岩手山での開催となる東北大会では、どんな成績であろうと私達の最後の大会となります。今自分たちにできることをやり遂げつつ、チームとして山を楽しむことを第一に、三年間の山岳人生の集大成となるよう、頑張っていきます。

### ■サッカー部キャプテン 佐々木敬也

（3年2組 塩竈二中出身）  
私たちは今回の高総体でベスト8という成績を収めましたが、ここまでの道のりは簡単なものではありませんでした。選手権、新人戦では、自分たちが目標として掲げる「県優勝」には程遠い結果でした。そこでもう一度、自分たちの甘さに向き合い、部員一人ひとりが自分に何ができるかを考え、努力を惜しまなかったことがようやく結果として実を結んだのだと思います。しかし、私たちはこの結果に満足はしていません。選手権でより高みを目指したいと思っています。



私たちがここまで来ることができたのは、指導して下さった先生方、チームメイト、応援して下さいたくさんの方々がいらしたからです。そうした方々に対しての感謝を忘れることなく、結果という形で恩返しをしたいと思います。

### ■女子テニス部部長 小野明日香

（3年4組 東豊中出身）  
私は中学の時にソフトテニス部に入りましたが、顧問の先生の勧めで高校では硬式テニス部に入部しました。一年生のうちは軟式と硬式の違いに苦労しました。私はメンタルが弱いので、練習通りに上手くできない大会は



嫌いでした。しかし、強気で試合に臨む先輩方の姿はカッコよくて、私の目標になりました。毎年恒例の夏合宿での炎天下の練習では、強い精神力と団結力を得ることができました。最後の高総体では今まで以上の緊張がありましたが、力を十分に発揮でき悔いのない試合をすることができました。団体は目標には届きませんでしたが、私たちの団結力はどの高校よりも一番強いと思っています。

先輩が引退し、私が部長になり不安でいっぱいでしたが、顧問の先生方と部員のみんなのおかげでやりきることができました。顧問の先生方は私の弱音や不安を受け止め力強い言葉で私を支えてくださいましたし、部員のみんなは頼りない部長でも最後まで付いてきてくれて本当に感謝しています。辛いこともたくさんありましたが、テニス部に入って本当によかったと心から思います。

## 本校OBの「海猿」が来てくれました！

## 海上保安庁説明会



現場の様子の映像を見ながら、分かりやすく説明していただきました。

6月11日、海上保安庁第二管区 宮城海上保安部巡視船「くりこま」に乗船中の本校卒業生、田仲祥吾海上保安官航海士補が、坂井光輝さんと本校を訪れてくれました。「くりこま」は特に特殊海難等に対応するために救難体制強化を指定された巡視船で、救難のための特殊な技能・知識を有する潜水士（一部救急救命士資格保有）が乗船しています。「海猿」として有名になった職種にあたります。

田仲さんはその潜水士の一員ですが、本校の第31回生であり、在学中はソフトテニス部に所属していたそうです。現在は海上保安学校を卒業後、とても厳しい訓練を経て、潜水士として活躍しています。

坂井さんと田仲さんからは海上保安庁の仕事の内容や実際の様子を話していただきました。海上保安庁の仕事は、陸上の警察と消防両方の役割を合わせたものになるそうです。これに加え、航行の安全のための科学的な調査など、その範囲が多岐に

わたることを知りました。

## 文化庁も大会・コンテストの季節です

## 放送部全国大会出場！

6月17日、NHK杯全国高校放送コンテストの宮城県大会が行われました。テレビドキュメント部門において本校放送部作品「点検通学路」が優勝し、7月に東京で行われる全国大会に推薦されます。おめでとうございます！

### ■放送部部長 佐藤淳史（3年5組 七ヶ浜中出身）



私たち放送部は、6月17日に行われたNHK放送コンテスト宮城県大会のテレビドキュメント部門で優秀賞をいただき、7月20日から行われる全国大会に出場することが決定しました。制作した作品は、7割以上の生徒が自転車通学をしている我が校でどうすれば自転車事故を減らすことができるのかを考え、た作品です。今回の作品の制作に協力して下さい先生方、生徒の皆さん、地域の方々、本当にありがとうございます。全国大会は全国のレベルを体感できる数少ない機会でもあるので、多くの事を学び、次の大会につなげられるように頑張っていきたいと思います。

## 本校より お礼&お知らせ

### ◎ネパール大地震への募金について

先月下馬駅前において、本校のボランティア同好会 o.s.i.n.e.s（コージネス）がネパール大地震への募金呼び掛けておりました。おかげさまで、皆様から34,268円もの募金をお寄せいただき、日本ユニセフ協会を通して被災地へお届けしました。ご協力ありがとうございました。

### ◎オープンスクールについて

7月4日に、本校のオープンスクールが行われます。授業見学や部活動紹介を通して学校生活の様子を体験できる機会です。中学生の生徒さんや保護者の方々はもちろん、地域の皆様にもぜひ本校の様子をご覧いただければと思います。皆様の来校をお待ちしています！